

福井・円陵組 托鉢で義援金を集める



福井教区円陵組（楠英昭組長）は、托鉢たくはつで寄せられた東日本大震災義援金81万9000円を携えて6月14日の大遠忌法要に参拝、橋正信総長に手渡した。

同組では、お念仏の輪が広まることを目的に毎年托鉢をしているが、今年は東日本大震災の義援金として6月4、5日に行い、僧侶40人余りが坂井市春江町の約240戸を回った。12日には同地区の隆広寺で大震災物故者追悼法要を営んだ。

楠組長は「托鉢では、被災地を心配する声が多く聞かれた。福井からできることを継続していきたい」と話していた。